

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(簡水)原水及び浄水維持管理事業		会計区分	88	水道事業会計	所管部署	産業建設部上下水道課		
予算科目			2 款 1 項 1 目						
事業番号	9941		事業区分	施設維持管理等事業		シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
評価の種別	□ 詳細評価 □		簡易評価（事業の概要・結果のみ）			所属長名	長岡	長岡	長岡
総合計画での位置づけ	基本目標	快適空間都市の創造							
	基本施策	潤いのある水環境づくり							
根拠法令等	水道法					担当責任者	中沖	中沖	堀内
関係する計画等						事務担当者			
事業の目的 【ゴール】	対象	市民（簡易水道の利用者）				事業開始年度	平成 17 年度		
目指すべき姿を簡潔に	意図	双海・中山地区の簡易水道区域において、施設の適切な維持管理を実施することにより、安定的な水の供給を行う。					令和		
事業内容 【アクティビティ】	双海・中山地区の簡易水道施設（豊田、中山、佐礼谷、村中、永木）の各水源地及び浄水場において、生活用水の安定供給に資することを目的に適切な機器の維持管理を行う。					事業終了年度 （予定）	令和 年度(予定)		
							※合併からの継続事業は平成17年度と入力 □ 設定なし		
事業の実施方法	□ 直営 □	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 指定管理	□ 補助金・負担金等	□ その他（	）		
本事業とSDGs (持続可能な開発目標) との関連性	□ ゴール 1	貧困をなくそう		□ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに		□ ゴール13	気候変動に具体的な対策を	
	□ ゴール 2	飢餓をゼロに		□ ゴール 8	働きがいも経済成長も		□ ゴール14	海の豊かさを守ろう	
	□ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を		□ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう		□ ゴール15	陸の豊かさを守ろう	
	□ ゴール 4	質の高い教育をみんなに		□ ゴール10	人や国の不平等をなくそう		□ ゴール16	平和と公正をすべての人に	
	□ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう		□ ゴール11	住み続けられるまちづくりを		□ ゴール17	パートナーシップで目標を達成しよう	
	□ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に		□ ゴール12	つくる責任つかう責任				

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断 現状維持	遠隔監視装置が整備されていない施設や老朽化が進んでいる施設があることから、効率的な管理運営を行なえるよう、計画的な施設管理及び整備を図る必要がある。	⇒ 設備業者に機器の状態確認などを依頼し、取替及び修繕について、見積りを徴している。	⇒ 緊急性及び費用などを勘案し、予算計上を行ない、機器更新を実施することで適切な管理に努めている。

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳							
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	節	細節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に
予 算	当 初 予 算	18,558	19,347	17,823	18,670				R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	
	補 正 予 算	490					光熱水費		421	398	488	528	水源地電灯料金
	前年度から繰越						委託料		7,133	5,369	4,326	8,436	水質検査委託料
	予 備 費 等						修繕費		4,551	5,627	639	3,259	浄水場設備機器修理代
	計	19,048	19,347	17,823	18,670		動力費		3,804	3,600	4,355	4,500	浄水設備電気代
決 算	執 行 額	17,402	16,608	11,465									
	翌年度へ繰越												
財 源 内 訳	国庫支出金												
	県 支 出 金												
	地 方 債												
	そ の 他												
	一 般 財 源	17,402	16,608	11,465	18,670								
	執行率（％）	91.4%	85.8%	64.3%									
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）		91.4%	85.8%	64.3%									
正規職員の人工数		0.55	0.55	0.55									
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895		上記以外の事業費合計			1,493	1,614	1,657	1,947	一般事務費、上記で書き表せないもの
※ 執行額＋人件費		21,689	20,879	15,807		事業費の総計			17,402	16,608	11,465	18,670	

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	項 目		単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	施設巡回点検や日常のロガー監視による状態把握とともに、施設管理組合と情報を共有することにより、水質事故の未然防止及び緊急時の適切な対応を図っている。
	指標①	維持管理費（原水・浄水にかかる直接事業費）÷給水収益×100	％	↓	45	53	34		
	指標②							事業遂行に係る課題・改善点	遠隔監視装置が整備されていない施設や老朽化が進んでいる施設があることから、効率的な管理運営を行なえるよう、計画的な施設管理及び整備を図る必要がある。
	指標③								
	指標④							課題解決に向けた方策等	設備業者に機器の状態確認などを依頼し、取替及び修繕について見積りを徴し計画的な機器更新を実施することで適切な管理に努める。

※ 目指す方向性が「－」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。